

報告会発表資料

つくる責任つかう責任チーム

『つかう責任つくる責任』チームについて

SDGs17の目標、12個目の目標である『つくる責任つかう責任』チーム(通称3Rチーム)です。

私たち3Rチームは3Rの中でもReduceを大切にしています。

私たちは近年問題になっているプラごみ(ペットボトルごみ)に

焦点を当てて活動中。

12 つくる責任
つかう責任



3Rチームの万博で達成したい目標

～2025年

万博でのプラごみゼロにむけたヒアリングや実証実験、プラごみゼロを達成するための仕組みづくりを行う

2025年

万博敷地内でのプラごみゼロ達成！(大目標)

2025年～

大阪からこの仕組みを発信していく！いずれは日本全国に！

なんでプラスチックごみ？なんでReduce？

プラスチックの環境への影響

- ・原料が石油のため化石燃料を消費、地球温暖化の促進
- ・海洋生物の減少、海の生態系の崩壊

人体/動物への影響 : 海洋プラスチック

- ・年間約**800万**トン(ジャンボジェット約5万機)
- ・2050年には魚全ての重量よりも重くなると予測
- ・マイクロプラスチック
- ・体内でのマイクロプラスチックの蓄積
- ・WWFの報告では1週間に平均5gを摂取
- ・生物濃縮で取り除けない恐れも
- ・海に広がったマイクロプラスチックの回収は難しい

NHK「時事問題がわかる プラスチックごみ問題」より



そのプラスチックはどこから？

- ・海や川で見られるプラごみの多くが都会から側溝経由で流れてきたもの
(川では毎年数万本単位のペットボトルが回収されている)
- ・その他産業に使われていたものの投棄なども多い

プラごみといっても・・・



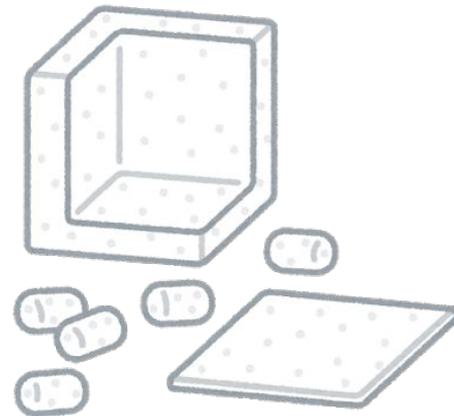
容器(トレイ)類



ペットボトル(ボトル)類



袋(フィルム)類



発泡スチロール類

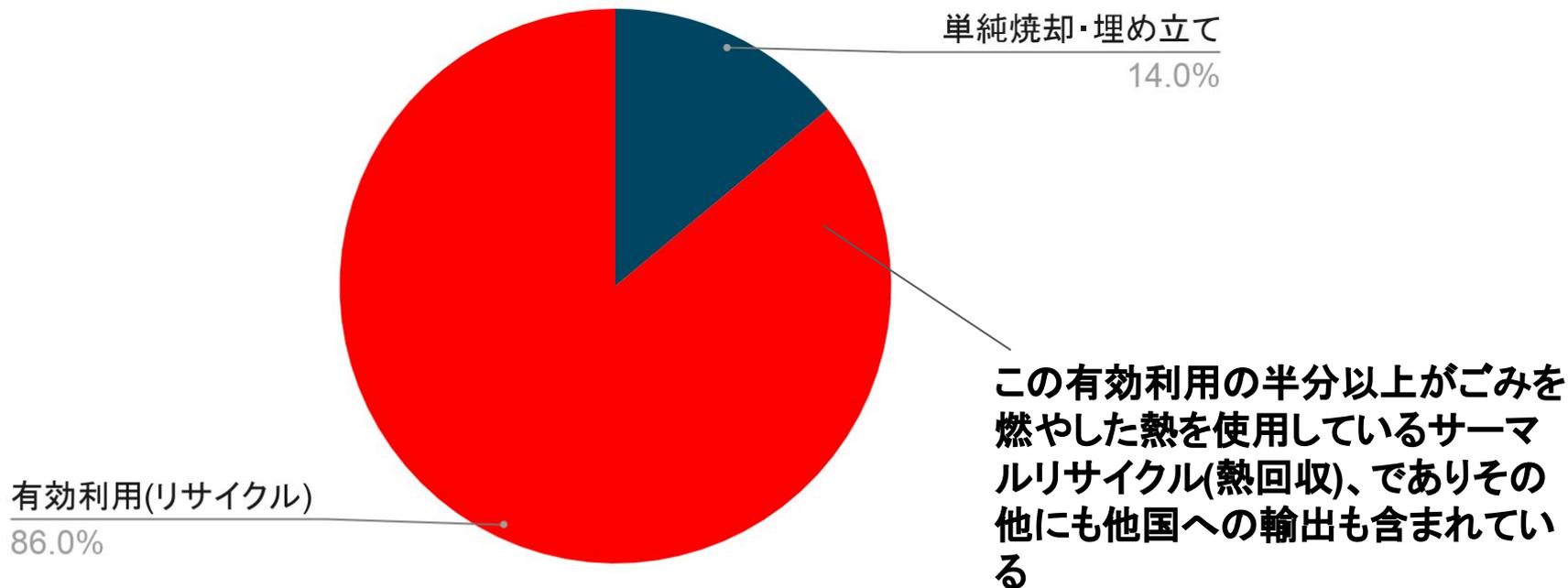
など種類はいろいろ

その中でもペットボトルごみは

- ・私たちの生活の中で一番身近
- ・ごみ拾いで回収されるごみの中でも非常に多い割合
- ・ポイ捨てされることが多い

Reduceを目指す理由

プラスチックごみの処理方法



初期案一覧

ペットボトルごみ対策案

万博規格のマイカップ&それに対応した自販機を万博内に設置する

万博の敷地内でのペットボトル自販機設置に規制をかける

容器系ごみ対策案

マイ皿キャンペーン(割引案)

その他プラごみ全体対策案

ごみ拾いアプリの開発

海洋プラごみ回収キャンペーン(アクセサリ作りなど)

大目標を実現させるための具体的なイメージ

万博規格のカップ(タンブラー)とそのカップの規格に合った自販機(カップに飲み物を補充する機械)を万博の敷地内に設置する。

万博規格は持ち運びに適したカップにする。(小さいカップを規格にしたい、その為に機械を沢山必要?)

補充する機械以外にもコップを洗浄するスポットも必要?

万博後のことも考えて、タンブラーの裏等に番号

そして.....



この目標を達成すると発生するメリット

- プラごみの量を大幅に減らすことができる
- 給水の機会を増やすことで脱水などを防ぐことができる
- このプロジェクトに参加した企業は若者(Z世代・ミレニアル世代等)からの支持を得ることができる





公開規格にする!

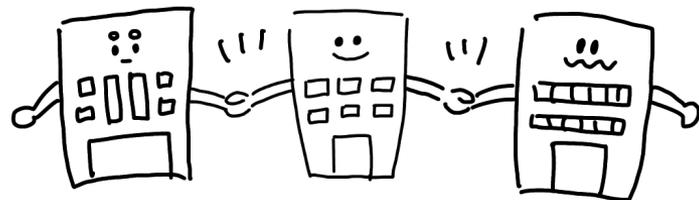


公開規格にすることで...

今までは競合していた企業同士の繋がりを作ることができる(この繋がりができれば環境問題に対してもっと効果的なアプローチができる！)

多種多様な企業が参加することで消費者が様々なカップを持てたり、飲料を飲める

企業同士のつながり



世界に新しい可能性を示せる

大阪ブルーオーシャンビジョンの達成！

→廃棄物管理，海洋ごみの回収及びイノベーションを推進するための，途上国における能力強化を支援するプロジェクト

この企業を超えたシステムが万博で実際に運用できれば、世界に新たな可能性を示すことができる。

大阪の中小企業を応援できる

公開規格にすることで、大阪の中小企業もこのプロジェクトに参加することができ、結果的に大阪の地域活性化になる

→大阪のみんなで「いのち輝く未来社会」をデザインしていく



これまでのヒアリング状況

容器製造(マイカップを作る人)	魔法瓶水筒メーカー(Z社)済み	容器サイズの変更可能性
飲料製造(中に入れる飲料を提供する人)	飲料水・自販機メーカー(A社) 飲料水メーカー(B社)予定 飲料水メーカー(C社) コンビニエンスストア(C社)予定	マイボトル対応の自販機 自販機メーカーの環境への取り組みの歴史 カップ自販機のサブスク
食品衛生管理	保健所(大阪府)予定 カップ洗浄機メーカー	食品衛生の視点
消費者(飲み物を買う人)	関西学院大学学生アンケート 予定	ちょうど良い容器の大きさ

これからの問題点

- ・衛生面(自己責任か、提供者責任か)

- ・万博での飲料提供システム

(マイカップを持ってきていない、買わない人への飲料提供方法)

- ・万博終了後の流通について